KSKQ(あいえるらくがき帳 No.227)第三種郵便物承認　通巻第 10585 号　2023 年 9 月 22 日発行(1)

【KSKQ】 2023年9月号 No.227

あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・5・6・8の日）発行

相模原事件から７年となる７月２６日、長居公園で、相模原事件を忘れないためのアピール活動を行いました。

昨年に引き続き、法人の利用者やスタッフみんなで、事件の犠牲者１９名への手紙を書いて、手づくりのポストに投函しました。集めた手紙は、実際にやまゆり園へ郵送しています。

相模原事件の犠牲になられた１９名のご冥福をお祈りします。

もくじ

○バスの運転手さんに紙芝居で伝え隊(障害者のついーと)
――当事者スタッフのコラムです
○岸田美智子 History(支援？介助？)
――法人で実施している自分史作成について紹介します
○続・グループホームが危ない！？(制度のア・レ・コ・レ)
――大規模グループホームの問題点について紹介します

https://aiel.or.jp

あいえる協会
公式サイトはこちら

☘☘☘障害者のついーと☘☘☘

バスの運転手さんに紙芝居で伝え隊

大阪シティバスの運転手さんに障害者や車いすのことを知ってもらうために、ピア・エンジンのスタッフや当事者が参加する交流研修会を、２０１９年９月より定期的に実施しています。障害をテーマにした紙芝居を見てもらったり、運転手さんが実際に車椅子に乗ったり押したりしてのバスの乗降車体験等を行っています。

６月に行われた１１回目の研修会は、大阪シティバスからは新人６名を含めた１６名にご参加頂きました。

まずは、あいえる協会オリジナル紙芝居『雨の日のけんじの１日 カッパに要注意』を見てもらいました。主人公けんじのとある１日を通じて、車椅子ユーザーの、雨の日の危険について伝えるお話です。カッパを着て出かけるので視界が狭くなること、踏切でタイヤが滑ることなどを伝える機会になったと思います。

続いて、色んなタイプの車椅子があることを説明して、車椅子でのバス乗車、下車体験をしてもらいました。 新入社員の皆さんは、実際に車椅子を押すことも乗ることも初めてで、電動車椅子でバスに乗車する時は、ぎこちなさと緊張感がこちらにも伝わりました。

最後は、満員状態のバスに、電動車椅子２台が乗車するシミュレーションを行いました。まずは、現役運転手が、手本として車内や車外のお客様に対してアナウンスしました。次に、新人運転手の一人が、汗だくになりながら同じ動きを体験しました。

大阪シティバスの営業所は１０ヶ所ありますが、障害当事者が入っての研修は、まだ２ヶ所でしか行っていません。誰もが安心で快適に利用するためにも、このような研修を広めていきたいと思います。

（文責：まあぼう）

この活動はＨＰでも紹介しています

☘☘☘支援？介助？☘☘☘

岸田美智子 History

～なぜ、私は地域での自立生活に取り組んでいったのか!? パート①～

前回に引き続き、当事者の方の自分史について、紹介したいと思います。今回は、ピア・エンジンの当事者スタッフである岸田美智子さんの自分史です。

新人職員が入社した時に、これまでの生活と関わってきた障害者運動などから大切なポイントを伝えてくださっています。そのポイントを含めながら岸田さんの自分史を紹介していきたいと思います。

★24 時間介護を受けながら、1995 年 5 月からグループホームほんわか第一号で暮らし、1999 年 6 月から一人暮らしを始めて 24 年目

★今はピア・エンジンで当事者スタッフとして勤務

★7 か月で生まれ、1 歳すぎに兄のはしかがうつり後遺症で脳性麻痺に。

★小学校に入学前、祖父におぶられ映画館へよく行っていた。ある日、隣に座った男の子が、岸田さんを見ていきなり「気持ち悪い！」とつぶやいたことが今でもはっきり記憶に残っている。

⇒自分が「障害者」だと気づかされるきっかけとなる…周りから自分は障害者だと植えつけられる

※優生思想につながっている。なので子どもの時から回りに障害者が当たり前にいる環境が大事！！

学生時代に周りに障害者はいたか？どんな子だったか？どんな関係だったか？を必ず新人さんに聞くようにしているそうです。

★両親は、両手足がほとんど使えず自分のことができないため学校生活は無理と諦めていた。実家がタバコ屋で、時々店番をさせられていたので近所の人が知ってくれていた。ある日近所のおばちゃんが両親に「なんで学校に行かせてあげないの？孫は寝たきりだけど学校に行っているよ」と教えてくれたことで 3 年遅れで小学校へ入学。

⇒このころは「就学免除」という制度があり、学校に行かなくてもいいよという通知があった。それにより障害児はほとんど学校教育を受けられなかった。

<店番をする岸田さん>

近所の人（地域）とのつながりがあったからこそ入学できたので、地域とのつながりは大切。それを奪うのが支援学校だと思っている。

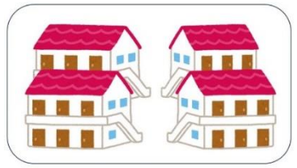
◇次回パート②に続きます！！

（文責：大倉）

☘☘☘制度のア•レ•コ•レ☘☘☘

続・グループホームが危ない！？

ＮＯ，２１７号で「グループホームが危ない！？」という記事で取り上げた、グループホーム（以下ＧＨ）の大規模化が疑われる事案がさらに出てきています。



- 複数の法人が、隣接する物件でそれぞれＧＨを運営し、合計３０名超が入居する。
- 指定を受けたＧＨが、10 名以上入居できる大規模な物件を追加の居住地として、少人数の定員で追加する。（将来大規模化が疑われる）

障がい者の入所施設は、一つの場所にたくさんの障がい者が生活するため、広い土地が必要になることから郊外に建てられることがほとんどでした。今では街中にある施設も見られますが、郊外の施設は地域からは離れていることから、施設入所者も職員も地域とのつながりが持ちにくい構造となっています。

この間のこういった大規模 GH の事例は、入所施設に比べると街の中に建設されてきていますが、このような大規模ＧＨが街中にできて、例えばそこに隣接した生活介護等ができて、入居者はみんなその通所事業所に通うことになってしまうと、そこだけの行き来の生活となり、昔のコロニーと変わらなくなってしまいます。

また大規模 GH を認めると、今ある大規模施設をそのまま GH に転換してしまうという流れもまた出てきてしまう恐れがあります。

GH はもともと、当事者やその家族の希望によってでき、「住まい」として制度が整ってきた経過があります。

大規模 GH は、少ない人数でたくさんの入居者をみるという効率化につながる仕組み、構造であり、GH 本来の「住まい」であるという視点、入居者のニーズやノーマライゼーションといった「原点」が無視されるおそれがあります。

（文責：天満）

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく～交流スペース～

■次回ぬくぬくスケジュール■

９月２０日　１０月１８日

一番人気はミックスジュース！

障害者福祉の動向

７月２６日…相模原事件から７年

７月２７日…成年後見人の報酬算定

2025 年４月から運用改善の方針

７月３１日…虐待が相次いだ中井やまゆり園

県が再発防止の行動計画を策定

８月１０日…佐世保市の障害者支援施設で虐待

１年間新規受け入れ停止の行政処分

８月２９日…障大連と大阪府の交渉　１日目

８月３０日…障大連と大阪府の交渉　２日目

★ヘルパーさん大募集★

時給：1320 円～

勤務地：住吉区・西成区の一部

勤務日：週１日～OK!※応相談！

連絡先：ヘルプセンター・ホップ
住吉区殿辻２－２－２７ 野村ビル２０１号室
TEL:０６－６６７６－２０１０
事務所が移転しました

ホップの新人職員紹介

新しいスタッフが加わりました！
自己紹介をブログに載せています！

住吉区地域自立支援協議会

■障がい者の暮らし何でも相談■

日程：９月２７日(水)　１０月２５日(水)　１１時～１４時

場所：住吉区役所

＊年間の開催予定は、HP からご確認ください

住吉区地域自立支援協議会 HP

編集人・発行人

■編集人■

社会福祉法人あいえる協会ライフ・ネットワーク（生活介護事業所）

〒558-0004　大阪市住吉区長居東 3-8-25　ふぁみーゆ長居Ⅱ１Ｆ

ＴＥＬ：06-6607-8260　　ＦＡＸ：06-6607-5503

郵便振替口座　00960-5-137458　年間購読料 600 円（定価 100 円）

■発行人■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ﾋﾞﾙ４Ｆ

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ

自立生活センター・まいど

グループホーム・あいえる

グループホームほんわか

ウィル

ライフ・ネットワーク

ピア・エンジン（分所）

一九九一年九月三日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・5・6・8の日）発行